

新テレビ会議システムの導入

社内外コミュニケーション充実に向けたテレビ会議システムのリプレイス

Introduction of a New TV Conference System

Replacement of the TV Conference System for Enhancement of Internal and External Communications

(電子通信部 技術G)

(Engineering Group, Telecommunications Engineering Department)

社内・社外を含むコミュニケーション環境の充実に目的として、テレビ会議システムのリプレイスを実施した。旧システムと比べ、主要装置を2拠点に設置し、新機能として他電力との社外接続や衛星通信システムとの接続を可能とした。以下にその概要を紹介する。

Chubu Electric Power Co., Inc. replaced its TV conference system, with the aim of enhancing its internal and external communication environments. In the new system, major equipment has been installed in two locations, and new functions to perform external connections with other power companies and connections with satellite communication systems have been enabled. The following describes the outline of the new system.

1 はじめに

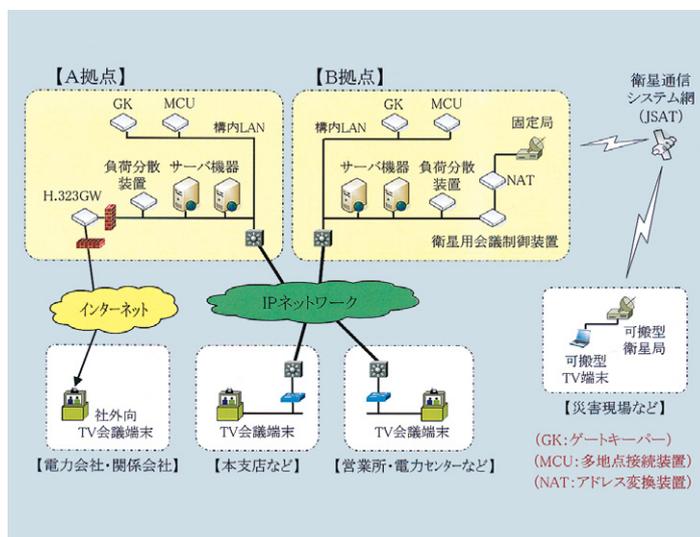
テレビ会議システムは、これまでも実務的な業務効率化の観点から有効に利用してきたが、経年劣化が著しく、また、カメラ映像の解像度が低く不鮮明であるなど問題を抱えていた。一方で、IP技術や映像・音声の高品質を維持した圧縮技術の進展に伴い、機器の高性能化が進み、鮮明で臨場感溢れる拡張性・接続性の高いテレビ会議システムのニーズに応えられるようになってきている。

このような状況の下、当社は2012年3月に最新のハイビジョン品質の新テレビ会議システムを導入した。

2 システム概要

(1) 主要装置冗長化構成

会議予約管理サーバやMCU(多地点接続装置)などの主要装置を2拠点に分散配置した冗長構成を採用。万一拠点が被災しても、自動切替により別拠点の主要装置を利用し、会議を再開可能とするものである。この機能により、災害発生時の防災会議での利用について信頼性向上を図った。



第1図 新テレビ会議システム構成図

(2) 社外との接続機能

今回導入したシステムは、利用者ニーズを基に社外接続機能を設けて、他電力会社や関係会社などとの会議を可能とした。回線はインターネット網と接続するため、ファイアウォールの設置に加えゲートウェイ装置を用いることで、IPネットワークのセキュリティを確保している。

(3) 衛星との接続機能

新たに衛星通信システム網を利用した仕組を整備し、事業所と現場間を結ぶ会議の実現を図っている。これにより、台風や地震などの非常災害時の連絡手段として、災害地用可搬型テレビ端末を現場に持ち出して、その状況に応じて復旧対応に利用することができる。

(4) システム構成管理

システムの管理ソフトウェア製品は、メーカー純正のOSおよびアプリケーションを活用し、各機器の機能を連携させてシステムを実現した。また、SNMP(Simple Network Management Protocol)やHTTPなどの多様なプロトコルを使い、異常時の原因解析や利用統計、端末増設時の作業や日々の運用管理業務負担を軽減している。



第2図 テレビ会議端末装置の外観

3 おわりに

新テレビ会議システムにより、社内や社外とのコミュニケーションの充実を図り、通常の会議利用だけでなく、非常災害訓練時の現場映像の配信や電力事業における情報交換や非常災害時の相互支援など様々な利用シーンにおいて、テレビ会議システムを活用し、業務品質の更なる向上が期待される。



執筆者/横山 誠